

想像してみよう

世界中の人々の平和な暮らしを



結成20周年定期総会

横浜ワークピア

2004年 6月19日(土)

退職者
こだま会報

NO.65



第20回定期総会報告

(会報64号二〜五頁参照)

第二〇回定期総会が六月一九日(土)ワークピア横浜3階かもめ室で開かれました。

開会 司会 大貫多喜子幹事

現在の出席者は71名、委任状633名、会則第一二条の総会成立要件(会員総数1195名の三分の一)を満し、総会の成立が確認されました。つづいて、前回の総会から今日までに物故された、別記名簿の一六名の会員にたいし哀悼の意の黙祷をささげました。議長に望月有氏を選出し、議長あいさつの後、大会書記に新井・日原氏を決めて議事に入りました。

代表幹事あいさつ(要旨)

生方武羅夫代表幹事

今度の国会は大変な国会で、政府与党によって年金制度の大改悪が行われました。また、自衛隊を多国籍軍に参加させるという有事関連法案が成立し、それに基づく閣議決定がされました。年金制度の大改悪により国民の負担は七〇兆円に及ぶといわれています。年金法案の国会審議の状況を見て、在日中の欧州通信社のある特派員は、もしこのような法

案が欧州で提案されたら、内閣は絶対につぶれるといっております。

このような悪法を通しながら、小泉内閣は健在のようですが、このような政治状況を何とか変えていきたいというのが多くの良識ある人々の共通の願いではないのでしょうか。

小泉内閣と政府与党の次の狙いは憲法の民主的平和的条項の改悪ではないのかと考えまして、今日の「憲法をめぐる政治状況と私たちの課題」と題する講演を植村先生にお願いしたところです。大変分かり易いお話しで憲法をめぐる政治状況がよく認識できたと思います。同時に、これから私たちが何をしなければならぬかという課題も明確になりました。憲法第九条、第二五条加えて前文、前文はまさに日本国憲法の生命線であります。これの改悪を許すようなことがあつては、日本の国民の将来が由々しき事態にさらされる事になります。戦争体験をもつ我われ退職者の世代が再び戦争の道に歩む危険性をもつ憲法改悪に全面的に反対し、平和な日本建設のために努力していかなければならないと思

ます。

今年、こだま会が創立されてから二〇周年になります。楽しい行事が盛り沢山企画されています。大いに楽しみ、その中で新しいエネルギーを蓄えて、厳しい政治状況に立ち向かっていく勇氣を持ちたいと思います。

来賓挨拶(要旨)

神奈川県職労副中央執行委員長

片野憲二氏

残念ながらこの国会で年金の改悪、有事法制が十分な審議もなしに通ってしまいました。いま、不景気が長引いている中で、社会保障制度の柱であり、昨年、医療改悪に続いて今年、年金改悪と、依然として社会保障の新たな負担を国民に押しつけています。これではますます景気は良くなつたと感じられない。私たちの賃金も五年連続して下げられていますし、当然のこととして貯蓄に回すとか先行き不安の中で本当地域経済は良くなつていくのか、地域経済はますます冷え込んでくる状況にあるのではないのでしょうか。

そのような中で、いよいよ二四日には参議院選挙が公示されます。

先の国会で年金法案・有事法案が二大政党を含む三党合意で成立しました。昨年の総選挙では二大政党制

がいわれましたが、二大政党・自公政権が私たちの暮らしにとって決して役に立っていないと見ています。

松沢知事も憲法「改正」の方向に積極的になつていっています。いま、自治体をめぐる状況、とりわけ「官」から「民」へとの動き、自治体合併が来年三月に向けて進められていきます。このような中で住民サービスが低下し、労働条件の悪化が進んでいることを心配しています。

憲法が制定されて六〇年、憲法を地方自治や暮らしにもっと生かすよう運動を進めてまいりたいと思います。

神奈川県高齢期運動連絡会事務局長

新倉昭二氏

横浜市従の退職者会の副会長もしていますが、数年前この総会に出た際には、会員数はまだ六百名台だったと思いますが、今日、議案をみて驚いたことに今は会員数が千二百名とは。市従退職者会は歴史も古く三〇年になりますが、会員数は千四百名そこそこです。それと比べて会員拡大のスピードは大したもんですね。これは、会員の要望を生かして会員に知らせる会報を作り、同時に要求を実現するための真摯な運動を一貫して進めてきている、そこに会員拡大の大きな原動力があるのでは

ないのか。こんど千葉県で第一八回日本高齢者大会が開かれますが、一万人規模で、神奈川県から五百人の参加を予定しています。高齢者の持つ今の任務を自覚して交流を深めながら一緒に共同の運動を広めていくではありませんか。

議事

第一号議案 経過報告・決算報告

加藤利秋事務局長より報告

(会報64号 2/3頁)

ここ数年で会員拡大がかなり進み、「かもめ会」といい勝負になっていくという実情があります。そのうち終身会員で入った方が圧倒的に多くなつていまして、このことは事務局としては嬉しいことですが、終身会員の場合は、入会の際、会費二万五千円をいただいで二〇年間面倒をみていかなければならないわけで、千四百万円の積立金の運営で責任が重くなつているのが実情です。二〇周年記念行事の一つとして、長寿の祝い何かしてあげたらと調べたところ八〇歳以上の方が八六名おられることが分かりました。財政面などの理由から会合などの充実を計って行くこととして、長寿の祝いは帳消しとします。会員拡大については、職員課主催の退職者説明会は時間が五分位に短縮され、十分説明できない

状況になっていて、もっと早く情報がほしいという要望が出されています。これからは、県職労機関紙を活用させてもらい、退職を前にして諸情報をお届けできるようにしたい。

趣味活動では世話人の方がご苦労されていますので、世話人の一役を担われる方がもっとご参加いただけたらと思います。

要求・要望に基づく活動では、年金制度の改悪に反対する署名に取組みましたが、男性は自分と奥さんの分だけというのが多いのに、女性の方は署名用紙五人分全部埋めて届けてくれました。女性は近所づきあいがよく、知り合いを多くもっていることが署名からも分かりました。

会計監査報告

古怒田監査から決算監査の結果、04年度一般会計、積立金会計および二〇周年記念事業積立金会計ともに妥当に執行されたと報告されました。(報告を拍手で承認)

第二号議案

二〇〇四年(平成一六)年度活動方針案および予算案

鈴木三郎事務局次長及び加藤事務局長より提案

(会報64号 4/5頁)
従来、年金はいったん決まれば下

がることはなかった。それが、昨年四月から下がり始め、今年も二%下がるときはどうか。マクロ経済スライドで上がらない。その理由は、①少子化②長生き：平均寿命の上昇ということ。先の参議院審議で年金改革案の「一〇〇年安心」の二枚看板が全くのウソと分かってても強行採決したのは許せません。再度審議をやり直しさせよう。いま、政府が検討しているのは、新しく『高齢者医療制度』とかいって六五歳以上の高齢者に掛け金を払わせようという動きも始まっています。そして掛け金は、収めない人が多いので、年金から天引きするという方向になっていきます。こういう動きに注意してもらいたい。

こだま会事務局は、無給ボランティアでやっているが、皆、年をとって、体力的に衰えてきています。もう少し若い人にバトンタッチしたい。このような情勢の中で、千二百人もなった会を潰したくない。申し訳ないが、七五歳位でカンペンしてもらいたい。事務局の場合は週一回午前一〇時から午後四時半まで拘束されず。雨が降っても、雪が降っても来なくてはいけません。半日三百円のお手当を出しています。それでぜひやって下さい。

情勢の中で、できるだけ楽しくやりたい。こだま会20周年事業も楽しく祝いたい。20周年記念事業にはわずかですが、一万円の助成金が出ます。この総会から来年の総会までの一年間を20周年の記念年間と位置付けて取り組んでいます。が、「記念誌」もすでに八〇名近い方々から原稿をいただいで、九月には印刷を上げるよう取り組んでいます。



質疑応答

本山さん 退職して五年になるが、初めて総会に参加した。この間、消費者運動に取り組んできたが、

今国会で消費者基本法が三六年ぶりに改正されて、県独自の新たな役割が打ち出されたことは、私たちの運動の成果がでてきていると思います。初めて総会に参加して感じた事は、役員の中に女性の副代表が二人いるが、前にきちんと座って報告するなど女性の位置付けを明確にしてもらいたい。県職労運動の中では、女性の位置付けがきちんとされていて、それが自分の誇りでもあった。県職労のよい点は引き継いでもらいたい。

参加者の運動の報告もできるような総会運営の改善もお願いします。明田さん 退職して一六年になるが、七五歳になると大変です。若い

人にぜひ役員をやってもらおうようお願いいたします。

鈴木事務局次長 生方代表幹事の前任者は、女性の鈴木しげ子さんで、七周年代表をされた。

加藤事務局次長 幹事二〇人中女性が九名いるが、全国の自治体退職者会でも例がない。まだ、男性本位で女性の出番がないのが実態です。本山さんの発言を力に、ご自身の出番もぜひお願いしたいと思います。(第二号議案承認)

閉会 大貫多喜子幹事

20周年をみんなで楽しく祝い、一年後またお会いしましょう。



懇親会 司会 叶井進一幹事
4時30分から地下食堂で59名集り、交流の時を持ちました。カラオケ、出し物はなかったけれど、美味しく食べ、飲み、ゆっくり語り合えた楽しい時間でした。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

(50音順)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 石崎 康雄様 64才 | 高梨美重子様 73才 | 花上 学様 80才 |
| 磯崎 愛子様 81才 | 竹花 茂様 73才 | 樋口津也子様 71才 |
| 勝澤 敏夫様 75才 | 田辺貴布枝様 83才 | 箭子 康夫様 75才 |
| 熊谷 昌三様 76才 | 鶴岡 正治様 80才 | 山本 倭夫様 72才 |
| 下山 健三様 77才 | 中根 勇様 78才 | |
| 杉崎 昭一様 76才 | 野仲 清様 67才 | |

☆この1年間に連絡のあった方で、昨年の総会以前に亡くなられた方を含みます。

結成20周年記念講話

憲法「改正」をめぐる政治状況と私たちの課題

植村 勝かつ 慶よし(国学院大学教授)

はじめに

憲法「改正」を主張する政党の言いはいろいろあるが、改正の主なターゲットは九条であるのは明らか。にもかかわらず国民の大多数は賛成になりつつある。

憲法「改正」をめぐる政治状況

戦後改憲論議が三回あり、一九九〇年代の政治改革と併せて議論が起きたのが三回目である。国会議員へのアンケートでは三分の二が賛成を占めたが、国民は九条改正に賛成は半分以下である。そこで政治的説得が必要と両院に憲法調査会を設置した。一昨年、中間報告が出されたが、意見はまとまっていなかった。

今年通常国会と参議院選挙で盛り上げようとしているが、公明党が消極的でうまくいかなかった。

自由民主党は、なぜ改憲をめざすのか？

ホームページによれば、立党五〇年の平成一七年を中途に憲法改正を進めていくとしている。

自民党内でも従来の押しつけ論は説得力が低下しており、代わって「六

十年も経って時代が変わった論」が増えてきている。

憲法九条は「空洞化」していると主張しているが、政治にとつてはなお極端となっている。自衛隊の存在が問題ではなく、海外に出すのが問題。派遣と派兵は違い、武力行使、侵略につながる。事件毎に法律を作っているがその都度もめる。

イラクへの派遣については六月一八日の閣議了解で「他国の武力の行使と一体化するものではない」とし従来の政府見解を変えるものではないとしているが、米国公使との間では口頭了解で文書にはしていない。国民が受け入れやすい項目では「新しい人権論」などがあるが、プライバシー権や環境権は個別立法で対応が可能である。

「首相公選制」は直接民主主義ではなく、国会における政策形成機能の低下を招く。

「二院制の廃止」は憲法が予定している国民の意見を聴く機会を減らすことになる。

「憲法裁判所」は裁判長の任命が

政治的になると、一方的に「合憲」のお墨付きを与える可能性が出てくる。

「日本の文化を盛り込む」…明治から敗戦までの社会に価値をおくものであり、和の精神の強調や象徴天皇制を「日本民族の文化的伝統」と根拠づけようとする動きもある。

公明党は、なぜ改憲をめざすのか 政権に付かず離れずのポーズから出てきたのが「加憲論」である。

現行憲法の条文を削除せずあらたな条項を追加するという手法であるが、何を付け加えるかによって元々の意味が大きく変えられてしまうこともありうる。

九条については青年部の反対があり、両論併記としている。

国民投票法をめぐる動きとしては四一五月に憲法改正のための法律を作る準備をすすめ六月合意、来年の成立を目ざしている。

民主党はなぜ改憲をめざすのか

〇四年度定期大会で国民主権の国にするため二〇〇六年までに憲法を創ることを打ち出したが、方針案を示せていない。

私たちの課題

憲法改正の手続きは両議院の総議員の三分の二以上の賛成で、国会が発議し、国民投票にかけ過半数の賛成を必要とするが、投票者の過半数

なので、投票率が低ければ一部の人の意見で決まってしまう。

九条以外の改正提案はカモフラージュである。また国民にとって今絶対に必要な改正なのかどうか。改憲の動きの底流にある動向を認識し、「六〇年経った論」のムードに流されることなく、政治の現実を冷静に見極める必要がある。

せいかつ短信

声・声・声

総会出欠状に寄せられた会員のみなさんの近況・提案・ご希望をお知らせします。寄せられた声は、126通でした。お勤めやボランティアなどの活動をされている方、多彩な趣味で生活を楽しんでいる方、本当に嬉しいことです。一方、体調を崩したり、怪我などで闘病中の方…一日も早く回復されることを願っています。

紙面の都合から「元氣です」「体調不良」の同一趣旨はまとめてお名前のみとし、「総会の成功を」「幹事ご苦労様」「お世話になります」などは割愛させて頂きました。なお順序不同で、一部省略や文字の変更しております。お許し下さい。

北海道スキューに参加して、退職後何年もたっている方達が、あの富良野のワールドカップが開催されたコースを元気で滑れるなんて素晴らしいことです。これからも、もっともっと続けて頂きたいと思っています。
(榎本 勝雄)

拉致問題、イラク戦争、自爆テロ、そして、憲法改悪を目論む小泉総理のあの厚顔な態度と、毎日クソ面白くないことばかり、しかしボヤキばかりではいけない。昔苦手だった工業簿記のテキストを購入して勉強をしています。
(村崎 亮一)

普通生活が出来てます。

(浅原 ミヨ)

こだま会総会の要望で始めたサークルこだま句会が発足4年目に入り合同句集をまとめることができました。性別も歳も職場も異なる人達が楽しく毎月集まっています。友あり、俳句ありの仲間にあなたも参加されませんか。
(小川 政則)

何時もこだま会報楽しく拝見して居ります。
(舟橋 稚子)

昨年は家を新築し、生活も漸くなれてきました。いまは、趣味の庭いじりをしています。
(長瀬 昇)

無職になって2年になります。しかし、10数年前の私の原稿が縁で福祉施設や福祉専門学校の講師のアルバイトが入り、4月から忙しくなりました。

それに、スイミング、ジョギング、登山などスポーツもしたいし、また本もたくさん読んでエッセイや福祉の原稿も書きたいなどと現役時代より充実した日々です。
(湯川 勉)

趣味：旅行(日本の温泉地)、家庭菜園
(沼田 徹)

退職13年お蔭様で元氣です。中村先生、歴史散歩の会の生方さんの文学歴史紀行には毎回参加する様頑張っています。楽しみです。
(鈴木 公彦)



(鈴木 公彦)

一日にここに知らないより知った方がいいやらないよりやった方がいいわたしたち老年は、悲しい、寂しいと思つたら、

「こだま会」などにかかわって、よりそってみて、孤独を喜びにかえてくれるかも、自分らしく生きる。積極的参加をしてみませんか。
(佐藤 善治)

春からの気温の変化のはげしさに体調が崩れ初夏というのに風邪をひいてしまいました。
(鶴賀 陽子)

春からの冷房(外出すると)にも大弱り。
(鶴賀 陽子)

定年退職後、アツという間に2年余が過ぎました。
「再任用」と「非常勤」二つの制度も経験してきました。ゴールデンウィークには田舎で一人暮らしの母の米寿の祝いをやってきました。
(中原 保彦)

踊り・彫刻楽しんでおります。
(大津 敏夫)

今年の企画行事予定、いづれも意欲的と思います。量の「かもめ会」質の「こだま会」の方向が強まるでしょう。次に「懇親会」の音頭は従来のような年長者ではなく、その年の会員の代表的な人に音頭をとって

もらう方が「会」の発想にふさわしいと思ひ願っています。
(尾玉欣一郎)

地域の老人会で各種事業に協力活躍しております。現在伊勢原の農地を借り野菜作りに週に一回程度通っております。趣味のゴルフは月一回はプレーしております。仕事は気楽に金沢の会社の監査役を担当しております。
(毛木 勇)

退職して早や13年になりました。平凡な毎日ですが元氣でいます。
(平野 拓男)

親の介護で何処にも外出できない現状です。
(久保 良雄)

当日、母の介護で出席することが出来ず残念です。20周年文集の方で参加させていただきます。また趣味の会の句集もあわせて発行することになっていきます。
(島田多嘉子)

この4月から定年後の第2の仕事にも終止符をうてたので、毎日が楽しい日曜日です。5年間、往復5時間間の通勤で身体はすっかりフヤケテしまいました。タガを締めなおそうとトレーニングに通い、泳いで、走っています。もうすぐ30歳頃の背広が着られるかも…。
(戸塚 忠)

こだま会報を楽しく見せて頂いています。(行谷 愛子)

難聴のため、総会など欠席し失礼しておりますが、会報は楽しく読んでおります。(入間川照遠)

昨年主人をなくしましたが、元気でがんばっております。(血糖は高いですが) 月金はつとめ、その他の日は孫の面倒を見たりしてなかなか自分の時間をもてない有様ですが、毎日が過ぎてゆきます。

(金井塚のぶ子)
実の姉の介護のため出席できません。(小島 淳一)

主人が死亡したので何もかも私がいなければならず、体に暇が全くなしで孫の面倒(男の小学生2人)に追われ、母親不在なので家の事総て私の肩にかかっています。そんな訳で前は必ず総会に出席しておりましたが、現在は無理? 生涯現役という所です。(中村 みき)

森林づくりボランティア活動支援の仕事をしております。こだま会で森林づくりボランティア活動のような活動を組んでみるのもいかがでしょうか。(勤) かながわ森林づくり公社(県民運動課) (岡崎 明)

散歩とパソコンで元気に暮らしています。ハンコ(委任状)はそろそろ止めてもいいと思います。

体力が弱り、庭いじりを休みがち、元気な方々が色々活躍なさる会報を楽しみにしています。(松野 秀夫)

時には出席したいと思っておりますが、たまたま他の用事が重なってしまっていて残念ですが欠席させていただきます。児玉さんはお元気ですかね。(坂本 孝八・初代会長)

おかげさまで元気に過ごしております。今は水総研内水面試験場に技術嘱託としてお世話になっております。仕事と趣味(短歌・作詞)など時間がいくらあっても足りない位忙しく生きております。(石崎 博美)

ゲートボールや、グラウンド・ゴルフ等で、楽しんでいきます。(堀内 薫)

時々旧友の記事など掲載されている会報楽しく読ませていただいております。(田野倉一夫)

88歳の母の介護で思うように動けないですが、絵を描いて自衛隊のイラクからの撤退を求め平和憲法を守ろうと、友人知人に訴えており



厚木出身ジャーナリスト森住草さんの写真をもとに

ます。(千島ミツ子)

満七十三才となりました。毎日多趣味で忙しく過ごしています。会報を楽しんでいます。(小笠原 勇)

老老介護日々を過ごしております。年金が心配ですね。(菊池 洋子)

子供の時から大病もせず今日まで生きて来たが、最近定期的に血圧や血糖値、それに眼圧などの測定の健康管理の昨今です。そして早や7月には喜寿を迎えます。平均寿命まで10年足らず…不快なニュースばかりの世の中ですが何かと頑張りましょう。(田中 和子)

月1回位のハイキング(歩け歩け)

10 km前後の企画をして下さい。(木塚 義夫)

特別養護老人ホームに入所しております。「介護5」です。何とぞよろしく願います。(宮崎四郎・妻民子)

前から腰痛の為出席出来ず、今度は足が悪く、上りはよいが下りが出来ず困っております。好きな旅行も行かれず残念です。(家城レイ子)

退職8年経過、万年主婦業で明け暮れております。会の行事も平日、横浜方面では足が向きません。ブロック別の集会etc提案したいと思っております。(岩本 光)

現在相模原市シルバー人材センターの会員となり、橋本駅の処で朝7時から2時間健康のため駐輪場管理をしております。又ソシアルダンスと月一回の山登りをして快適な人生を送っております。(小林 敬爾)

健康に不安があります。生活習慣病に悩まされています。医療費が高いのに困っています。(山田 勝平)

元気で整体施術活動しております。又趣味として居合、詩吟に励んでいます。(稲本 春雄)

年齢なりに元気でやっています。アサヒビールの工場見学会は都合がつかましたら出席したいと思っています。(小林 滋樹)

県退職後10年程経過しましたが嘱託業務もやっと終了し主婦業に専念しておりますが、年金生活には問題が沢山あって高齢者のくらしが今後いかに多くの難問がひかえているかを実感しています。(中村 桂子)

年金のみの生活です。改悪にならないように頑張ってください。(梶野 友次)

老化防止のため、週5日短時間のバイト中です。いつまで続けられるやら？(大澤 常雄)

こだま会のサークル楽しく参加させていただいております。(福元 久子)

歩き遍路を終えて今日戻りました。1200キロ四国を一周して学ぶことが多い旅でした。ご接待でお金やペットボトルなど様々なやさしさに包まれた辛かったけれどステキな体験でした。(佐々木雅子)

まだ日常のペースがつかめておりません。バタバタと動いています。(鈴木 吉子)

償却期間も切れ、残存価格のみ、些草臥れています。が頑張っています。年金問題、イラク問題等々腹が立つことが多いです。(川口 勇)

体調が思わしくなく、若干苦勞しています。が総会には是非何とかが出席できることを楽しみにしております。(小野 正良)

心身ともに健康で、毎日、充実した日々を送っています。(大原 茂)

年令並みの健康を保ちながら、こだま会の歴史・文学紀行に参加させて頂いたり、山歩き、家庭菜園にとり組んでおります。最近我が団地にも空き巣が多発して、昼夜のパトロールなどにも参加しております。(縣田 護)

年々職員が減り非常勤としてのんびり出来ず、現職の時以上に忙しいのですが仕事は面白くのめり込んでいます。ジョギングに山はつづけています。昨春秋には北ア鹿島槍の途中で強風と吹雪でハラハラしました。(佐藤 榮一)

6月15日私の調理師会の50周年のため野毛のイルパイン(老松会館)でPM2時より記念大会があり、理事として欠席できません。(横山 善助)

趣味その他で充実した日々を送っています。(小林 泰夫)

がん手術後、この秋で五年、お蔭様でなんとか過ごしています。(吉井 進)

孫の面倒と家事と畑仕事で毎日忙しい日々を送っています。あいまに趣味の菊づくりと民謡のけいこにかよっています。年金改悪、政治献金頭にくることはかりです。(小澤ミネ子)

折々に会報をお送り下さりありがとうございます。年金生活者としての必要な情報や、かつての同僚の様子を知ることができ、感謝申しあげます。"反省"と"努力"でだけ防止に励む日々です。(横田富久子)

一昨年の六月から現在の職場で働くようになり丸二年になりました。スタッフは男女ともに、比較的若く、現役当時のようにハッスルし帰宅後は足、腰の痛みで反省しています。今年の四月から精神保健福祉士の資格を目指し、通信講座にチャレンジしました。(増村 一夫)

今年から、生命の星・地球博物館のボランティアを始め、通年キノコに親しんでいます。農作業も慣れてきました。収入を得ることが難しいです。新鮮な野菜のおいしい食べ

方、規格外品の活用など、目下開発中です。(福井 道子)

七十歳になりましたが、元気で党後援会でガンバッテいます。健康のために、少しの時間でも草むしりや、苗に水をやりながら、ストレッチを解消しています。(岩澤 幸雄)

相模原市内の出先機関に在職中ご近所の老獣医師さんにすすめられてはじめた謡曲が、その後県庁謡曲部に移りなんと二十年以上続いています。部員も大半以上がOBとなりましたが、それでも毎年若い人が加わってきます。(清水 敬一)

緑の中でなんとか元気に過ごしております。(松村美知子)

今、世界中は人の殺し合いと騙し合い、まったく明るくないよね。しかしこうした現実には本当のことなんだと自覚しないと未来が明るく良くならない。それにはササヤカながらの行動あるのみ。(大野知多夫)

五月二十八日に、主人をなくし、寂しくなりました。少しづつ、集まりに参加させて頂くつもりであります。(上野多恵子)

この春OBを退職しました。その後は、市内交通安全協会でもボランティアをしながら週に一・二回テニスをしてあとは、こだま会報を読ませて頂くことが一番の楽しみです。

(市川 幸夫)

日本の年金制度の脆弱さに呆れるばかりです。我々年金生活者、そしてこれからの世代の人々を一樣に不安に陥れる現状に怒りを覚えます。

(鈴木 義朗)

横浜まで出かける事もおっくうになってしまったこのごろです。元気で生活はしています。(榎本恵美子)

こだま会に入り十年、年金相談指導員としての業務を今年三月末で終了し、やっと専業主婦になれ、主人と二人家事に追われています。大切な年金問題、何かとお役に立てればと思っています。(齊藤佐奈江)

足の調子が思わしくなく残念ながら出席出来ません。(湊 ふみ)

今年もダイヤ緑産(株)に勤務しております。健康保持とボケ防止のため、バードウォッチングを続けています。(塩沢 徳夫)

夫週三日透析通院中で私も月一度リウマチ、高血圧で警友へ通院し

ております。

(平能 芳子)

色々希望はあったのですが再就職のため馴れない仕事で、当分余裕なし。

(沢谷 広志)

毎日元気で晴耕雨読といったところで。

(小山田洋志)

元気で過ごしています。ご活躍を期待しています。(木島 良夫)

重い病気ではありませんが、家内共々医者通いが多くなかなか出席出来ません。(荻部 清)

八十歳を数える年令になりました。現今、花木の植物と共に元気に過ごしています。(河久保矩夫)

語学サークル・ラジオ会話及び薔薇の鉢植えに挑戦しています。

(荒川 克彦)

明るいニュースがほしいこの頃です。個人的には前向きに生活したいものですが……痴呆になった母の介護の日々で精神的にクタクタです。幸い私は元気で。全てよしとはいかないもの。(今井 洋子)

病気療養中(軽い脳梗塞)歩行訓練で休み休みですが1kmくらい歩い

ています。

(伸川 栄二)

退職して十年になりました。厚木の鈴木学園に勤めております。

(川島 大)

今のところ元気でやっております。

(四方 徹)

残された人生を大切にしたいと思っております。(杉山 久子)

腰痛が強く歩行が大変なので出られないのがとてもさびしいです。

(坂田 静子)

平成十一年に軽い脳梗塞で倒れました。(石塚 幸男)

退職して早くも四年たち、会報を読ませていただき自分も頑張っております。中々集まることは出来ませんが今後もよろしく。(玉井 アツ)

野菜づくり、水泳、歩け歩け。

(金子 ナカ)

病気医療のため本人入院中。会報を楽しみに読んでおります。

(諏訪 治正)

専業主婦、呆け防止と闘っております。(鈴野 ルリ)

最近腰痛のため病院通いをしております。趣味のゴルフも少しお休みの状況です。(細江 恒秋)

一病息災で消光中のところ、昨年四月から肘の関節の故障で右手が不自由になりハビリ治療中ですが実績は余りありません。この返事はボールペンで書いておりますが、毛筆は使えなくなりました。

(古谷 守正)

退職後専修大学経済学部へ編入学しまして、現在四年次に在学いたしております。(鈴木 篤美)

旧中・高校同窓会と重複残念乍ら欠です。もっと早く予定知らせオネ7/30ビール出席 Good idea

(原口 明郎)

古希です。優先席に座らないようガンバッテます。(小林 文夫)

十六年三月末で退職しました。何事も時間に追われる事なく、ゆっくり、ゆったりした生活ですが何かと忙しい日々です。(塩澤 三郎)

齢、喜寿の年となりました。毎日、朝夕散歩をして健康保持に努めていきます。(山本 秋徳)

元気に県立西丹沢自然教室でアルバイトをやっております。

(伊藤 治)

三月三十一日で非常勤終わりました。(関 節子)

今は第二の人生(非常勤職員として)来年はフリーになります。その後趣味を生かして、生きて良かったと思えるような人生にしたい。趣味は洋服作り。(奥津 弘久)

今年二月に入院しましたので、今は欠席させていただきます。私は引き続き、大和市みどりのまちづくり振興財団の仕事を手伝っております。また、福島県相馬で植物を育てる楽しみもあじわっています。健康の大切さが、よくわかりました。皆さんもご自愛ください。(市川 清)

年金改悪は大きな問題。公務員への風当たりも強い。若い県職員の方が今頃自分の問題と、気づいている?まだいない?組合無関心でいいのかな?(水澤都加佐)

昭和五十九年三月末退職(神奈川県鎌倉保健所)以来小田原駅駅弁工場(東華軒)調理師学校講師、県内、静岡、山梨のホテル・旅館・スーパー(肉・魚・総菜)等、食品コンサルタントとしてお客様が安全に安心して買える様衛生指導を続けて今日に至っており元気です。ビデオ・ハーモニカの趣味 七十五歳 (清水 輝雄)

再任用で引き続き小田原日WCで温泉の仕事をしています。地域で温泉の話をしていきますが今の改悪を国民本位の政治に変えることが、温泉地を甦らせる良薬だと思います。これからも職場や地域の皆さんと団結して、改悪を許さない活動をねばり強く続けて行きたいと考えています。(久保寺八正)

癌の手術から五年経過し担当の医師から「もう大丈夫です」と言われました。これからは、余生を楽しく生活したいと思います。市立公民館(平塚市)長の職は、この三月三十一日で終了しました。(神保 武)

少し健康を害しておりますので、体を労わりながら家庭菜園や盆栽の手入れ等で日々過ごしております。(大木 一郎)

地域の中での活動や暮らしの中で時間が取れません。会のご盛會を祈っております。(遠藤 正子)

元気で過しています。

(市川忠勝、木島良夫、吉澤良美、稲垣和成、中村貞雄)

病氣療養、体調を崩しています。

(小野忠雄、矢部市太郎、石川和善、石渡恵美子)

古希のユースホステラー

屋久島ユースホステルが企画した「宮之浦岳登山ツアー」に参加した。鹿児島空港からプロペラの飛行機に乗ると、30分後にはもう屋久島空港に着く。1時間に1本のバスに乗ってユースホステルに向かう。インターネットで調べたこのツアーの料金は、3泊4日、食事・登山ガイド料・保険付きで39800円、飛行機の割引などもあつてお勧めしたい料金だ。ユースホステル会員は年齢に関係なく誰でも会員になれて、一泊二食付きで4500円程度と大変経済的、山小屋に泊まる感覚で利用している。



1ヶ月に35日雨が降ると言われる程雨の多い屋久島だが、梅雨明けをねらったのが大当たりで、晴天に恵まれる。宮之浦岳は標高が1935m。登山口は1370mなので標高差は565mしかないが、問題は往復16kmの長さだ。

朝4時30分ユースホステルをガイドの運転するワゴン車で出発。同行者は20才台2名、50才台1名、60才台2名、70才台1名。淀川登山口で朝食、6時30分に登りはじめる。花之江河の高層湿原を経て、11時40分に宮之浦岳山頂に着く。帰りは疲れた足をいたわりながらの下山、淀川登山口にたどり着いたのは17時50分。歩いた時間は登りに5時間10分、下りに5時間30分、一日に歩いた山道の距離16kmは自己新記録。ユースホステル帰着は19時、シャワーを浴びてから、生ビールで乾杯、その美味しかったこと。

同行した若い女性は楽勝だと話していたが、日頃のトレーニング不足のせいか、年のせいか、古希の私には荷が重かった。無事に登れたのは屋久島ではまれな晴天に恵まれたことと、地元のガイドの好リードによるものと感謝している。

(米山 東伊)

楽しい趣味の会

趣味の会は、長生きの散歩道

一緒に歩きましょう!!

歴史教室 散策

測野辺をまわる

六月二一日、台風六号の接近を聞きながらも風雨は午後以降との天気予報を信頼して一六名が横浜線古測野に集合した。駅前で講師からコースの説明を聞いていたうちに早くも雨が降りはじめ、今回は時折の豪雨に見舞われながらの雨の中の散歩となった。

我々の年代にあつては、太平記の物語りの中で護良親王の幽閉・殺害の事柄は関心の深い大事であり、今も鎌倉では観光に際して聞かされているのではないか。その際の刺客とされている測野義博が測野辺の郷土と知らされ、しかも親王を地元にお迎えして東北地方への隠棲までお伴をしたなど、忠節を尽くした伝説とその史跡をたどる今回の内容は興味深いものがあつた。

早速、鎌倉街道沿いにある合戦跡とその慰霊に建てられた大日堂を手はじめに、鹿島神社に立寄り、旧大山街道から伝説の龍像寺へ行く。寺

は測野義博が境川の測に棲む大蛇を退治して村人を救ったことを縁起としているが、地頭である岡野氏累代の墓所として谷間の墓地をはじめ、境内全体に手入れの行届いた明るい印象を受けた。

その後は台風めいた風雨の中を義博の館跡など三か所を巡り、二時間余の行程を歩いて目的地のレストラ

ンに到着、無事解散した。降雨のため、周辺を観察する余裕はなかつたが、歩いたコースが境川沿いの古くからの集落の道のため、今もその雰囲気が残されている所もあつて、数十年前に仕事で歩き回った頃が思い出されて懐かしかつた。

また特別有名な観光施設ではないにせよ、史跡の保存をはじめ案内等全般に対する地元観光協会と市の整備が行届いていて楽しく巡ることができた。

雑詠

伝説と譜系を掲げ大居士の墓碑ならび立つ雨の奥津城(龍像寺)

(中澤祥浩)

食と文化をたのしむ会

夏の薬膳

ナツバテ解消のために

七夕の翌日、元気の出る薬膳料理をみんなで作り試食しました。メニューは①党参枝豆入り梅しそご飯

(補気・健脾) ②鶏肉の紅花照り焼き(気力増進・血流循環) ③黄精入りトマトと卵のスープ(補陰・活血) ④金針菜とひじきの煮物(養血平肝・利尿消腫) それに亀井さんの厚意のさっぱりしたフルーツのデザートが出ました。

美味しかったのは、梅しそご飯で紫蘇の爽やかな酸味と枝豆の甘さに食欲をそそられました。ひじきの煮物は、色々の食材が入って甘辛いお味、もってこいの常備菜です。

参加者10名、年金者組合の方7名と合同で材料費が安く付き、会費が五〇〇円返ってきたのは幸いでした。

とき 2004年7月8日(木)

ところ 横浜市健康福祉センター

囲碁同好会

5月例会

碁を打っている写真は撮り難い。



『太平記』の舞台を歩く 第5回文学・歴史紀行

5月15日(土)鎌倉の釈迦堂谷切通しを中心に、宇都宮辻(辻子)幕府跡・東勝寺跡・宝戒寺・東光寺跡・永福寺跡・足利公方邸跡とほとんど跡地で、想像の翼を広げる歩きでした。

釈迦堂谷切通しは中世のトンネルです。周囲の岩肌は、砂岩と泥岩の互い違いの層が風化の差から興味ある形をしており珍しく面白い。昔の雰囲気をよく残しています。

源頼朝が平泉の中尊寺や毛越寺を模して建立したと言われる二階堂の永福寺は、宇治平等院を上回る規模で寝殿作りでは国内最大級と言われ南北一三〇メートルにわたる大きなものでした。

この寺跡は鎌倉市教育委員会によって発掘(昭和五七年度)され、将来、史跡公園となる予定です。華など緑に覆われたここに、壮大な伽藍、回廊を廻らした薬師堂、二階堂(地名の由来)、阿弥陀堂そして庭園、僧や児童を招いての舞い：験の裏に想像してみても、その凄さに感動しました。鎌倉駅出発から帰着まで、今日の歩きは鈴木公彦さんによると、一八八五〇歩でした。参加者七名、案内は生方さん。(木村)

予告!! 予告!! 予告!!

20周年記念行事

歴史教室

京都一泊研修旅行

紅葉の季節の京都で、由緒ある寺でらを巡り学びます。

とき 11月14日(日)～15日(月)

1泊2日

コース 新幹線で京都へー嵐山ー大河内山荘ー二尊院ー天龍寺ー祇王寺ー化野念仏寺ー(泊)ー六波羅蜜寺ー大谷本廟ー新幹線で横浜へ

とまり 京都センチュリーホテル 講師 中村猪一郎会員

費用 約四万円(宿泊代・1泊1朝食、新幹線往復代)

拝観料やホテル以外の食事は自弁

申込み 9月10日(金)までに葉書かFAXで、こだま会事務所あてにお申し込みください。

記念料理教室

県職労壮年部共催

特注の蕎麦粉で専門家によって手打ちを学び、天麩羅で一席、楽しい語らいの一時を!

とき 9月18日(土)10時から

そこから見える古代社会について考えてみようとするものです。とき 10月9日(土)

横浜高島屋前(広場側) 午前八時四五分集合

午前九時出発

目的地 埼玉県行田市

参加費 なし・交通費 自己負担

その他 弁当・飲み物を持参

雨天の場合は中止

ガイド 生方武羅夫会員

申し込み 生方武羅夫

電話 045-823-2166

FAX 045-823-1301

記念囲碁大会 囲碁同好会

とき 9月5日(日)10時開会

ところ 囲碁サロン有心

参加費 一、〇〇〇円

名人戦、段位戦、級位戦があります。県の退職者、現役職員、その家族やお友達など碁の好きな方などでも参加できます。

希望者は、8月20日(金)までに電話で、住所・氏名・電話番号・級位をお知らせください。

連絡先

こだま会 TEL 045-212-3179

幹事 登 豊吉

TEL 045-824-7155

青沼慶祐

TEL 045-782-7665

こだま俳壇 (7月句会)

また一つ子供に返る母の夏 憲法改悪阻止に一票夏暑し

高田多嘉子

蜘蛛の囲に顔をとりれる梅雨の朝 道いっぱい園児の挨拶初夏の朝

白石 為康

朝顔の昨日の紅今朝の藍 冷素麵鉢に沈めて忌日なり

新井 博美

故郷より真赤なトマト妹思う 檜扇や中世女人の墓荒れて

横川美代子

白鷺の群たわむれて青田波 雲丹漁の解禁に湧く小値賀島

三井 光子

試験日の鉛筆の音扇風機 七夕に願いを込めて問題作る

湯川 勉

亡き友の思い出香る花くちなし 梅雨の朝ハイビスカスの赤燃ゆる

鈴木志げ子

豚草や農業特区駝鳥飼う かつこうの托卵牛も卵移植

小川 水草

氷川丸灼け戦争を語らざる 真夏日の倦怠遠き浮標褪せて

山本つばみ

●古典落語を楽しむ会

とき 10月2日(土)14時開演
 ところ 横浜にぎわい座(野毛)
 出演 JR桜木町駅下車徒歩3分
 林家たい平さん
 古典落語二席ほかゲスト
 費用 三、〇〇〇円 団体15名で
 一割引

林家たい平さんは、テリイ伊藤さんと『ニッポン放送のつてけラジオ』のレギュラーで、いま子供たちから若者、お年寄りまで人気抜群です。笑いは健康の元、家族、友人皆さん誘い合わせてお出でください。
 申込みは8月末日までに、こだま会事務局へ。

●国際高齢者文化祭

参加の旅

10月25日(月)から31日(日)の七日間文化交流に参加し北京・桂林・陽朔・上海を巡る旅です。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

●結成20周年

記念レセプション

11月6日(土)午後、神奈川県自治会館で行います。詳しくは次号(10月中旬刊)でお知らせしますが、予定に組んで置いてください。

●歴史教室 散策

頼朝の落馬説の旧相模川を歩く
 とき 9月27日(月)
 ところ JR茅ヶ崎駅改札口前
 12時30分集合(昼食を済ませてくる)

費用 会員500円・会員外1000円
 申込み こだま会事務局まで

●冬の薬膳料理

11月25日(木)、詳しくは次号で。



読む

神奈川機関紙印刷所印刷
 神奈川県職労退職者こだま会

合同句集 こだま
 こだま句会編
 2004年6月刊

の俳句サークルの合同句集で、毎月第3木曜日の句会、かながわ農業アカデミーや宮ヶ瀬ダム等の吟行の作品など、俳句を通じ友が増え楽しい句会ぶりが窺えます。こだま会結成20周年の記念私家版。ご希望の方

楽しさいっぱい

魅力たっぷり

第10回 手づくり文化祭

神奈川県退職者会の恒例、手作り文化祭が10月30日(土)に横浜市従会館で開催されます。絵・書・写真・手芸などの作品展、バザー、歌や踊り

は次に申し込んでください。

小川水草 TEL042-742-2253

高齢期運動

輝け高齢期

第一八回日本高齢者大会in千葉

高齢期運動には、戦後日本の民主主義と社会建設の闘いの伝統が息づいています。この伝統を、若い人達に示し伝えましょう。

・とき 9月15日(水)11時~16時30分(全体会)・9月16日(木)9時~12時(分科会・学習講座など)
 ・ところ 全体会場―千葉ポートアリーナ・分科会など―千葉市内



7箇所(16日)

- ・記念講演 宝井琴桜さん
- ・「講談で語る高齢社会」
- ・申込み こだま会事務局まで

編集後記

・この酷暑！編集委員会一同、会報と二〇周年記念誌の編集を抱えて奮闘中です。

・記念誌には、八〇余名にのぼる方がたから原稿を頂きました。後記を借りて厚く御礼申し上げます。九月末には、本の形になります。

・いよいよ、憲法が危なくなってきました。二度と戦争はイヤだ！この想いを大切にしたいものです。

・この暑さ、とりわけ闘病中の方がたの大変さを推察いたします。お大事にね。皆さん、体に気をつけて、夏を乗り切りましょう。

(木村)

編集・発行
 県職労退職者こだま会
 発行人 生方武羅夫
 発行日 2004.8.15

No.65

〒231-0023
 横浜市中区山下町57-1
 神奈川県職労内
 TEL 045-212-3179(代表)

TEL 045-212-3179

などのイベントのほか健康チェックもして貰えます。
 皆さんのお品、出演を待っています。振るってご参加ください。また、当日と一緒に楽しませてください。
 問合せ
 こだま会事務局まで